

# H24 栃木県 公立 数学 問題

数-12-公-栃木-問-01

**1** 次の問 1 から問 14 に答えなさい。

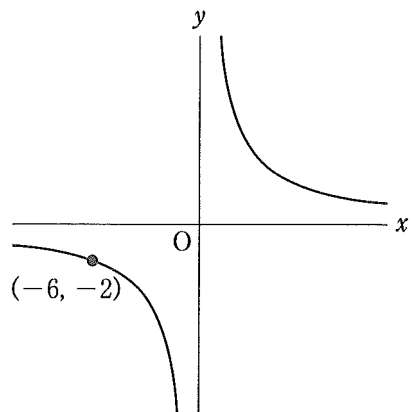
問 1  $4-7$  を計算しなさい。

問 2  $\frac{2}{5}a + \frac{1}{2}a$  を計算しなさい。

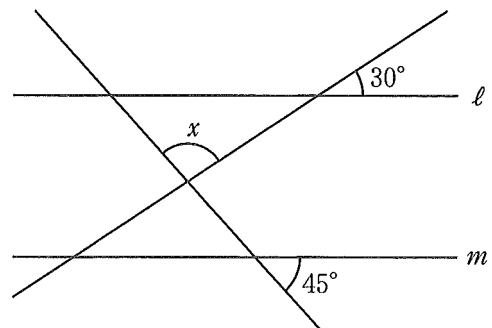
問 3  $a=-3$ ,  $b=4$  のとき,  $a^2b$  の値を求めなさい。

問 4  $(2x+1)(2x-1)$  を展開しなさい。

問 5 右の図は,  $y$  が  $x$  に反比例する関数のグラフである。  
 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。



問 6 右の図で,  $\ell \parallel m$  のとき,  $\angle x$  の大きさを求めなさい。



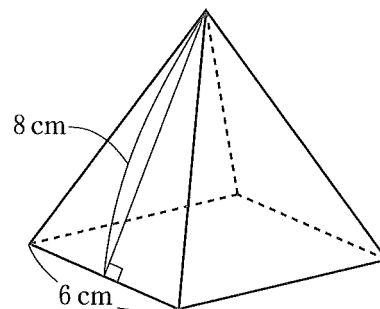
問 7  $3a-b=4c$  を  $a$  について解きなさい。

問 8 2 次方程式  $x^2+5x+1=0$  を解きなさい。

問 9 関数  $y=-x+3$  について、 $x$  の変域が  $-3\leq x\leq 2$  のときの  $y$  の変域を求めなさい。

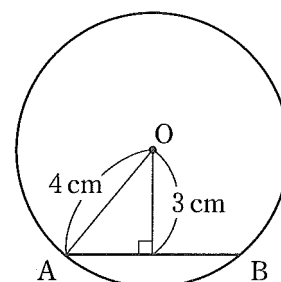
問 10 5 つの整数 2, 10, 8,  $x$ , 7 の平均値が 6 であるとき、 $x$  の値を求めなさい。

問 11 右の図のような、底面が 1 辺 6 cm の正方形で、側面が  
高さ 8 cm の二等辺三角形である正四角錐がある。この正  
四角錐の表面積を求めなさい。



問 12 関数  $y=x^2$  について、 $x$  の値が 1 から 4 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

問 13 右の図のような半径 4 cm の円 O がある。中心 O からの距離が  
3 cm である弦 AB の長さを求めなさい。



問 14  $\sqrt{3n}$  が自然数となる 2 けたの自然数  $n$  のうち、最も小さい  $n$  の値を求めなさい。

## H24 栃木県 公立 数学 問題

数-12-公-栃木-問-02

**2** 次の問 1，問 2，問 3 に答えなさい。

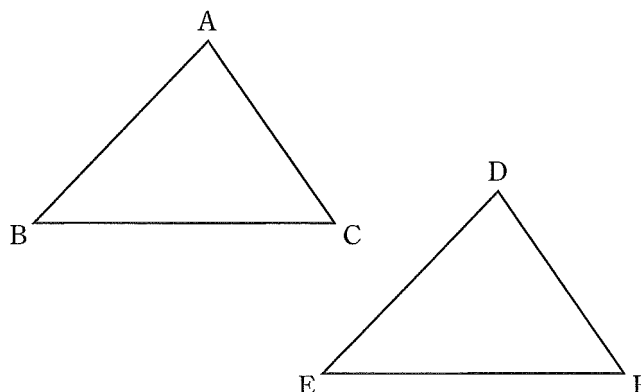
問 1 下の図の $\triangle ABC$  と  $\triangle DEF$  において， $AB=DE$ ， $BC=EF$  である。このほかにどの辺や角が等しければ， $\triangle ABC$  と  $\triangle DEF$  が合同であるといえるか。ア，イ，ウ，エのうちあてはまるものは 2 つある。そのうち 1 つを選んで記号で答えなさい。また，そのときに使う三角形の合同条件を答えなさい。

ア  $AC=DF$

イ  $\angle BAC=\angle EDF$

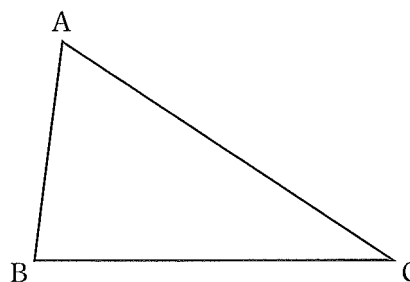
ウ  $\angle ABC=\angle DEF$

エ  $\angle BCA=\angle EFD$



問 2 袋の中に赤玉 2 個，白玉 1 個，黒玉 1 個が入っている。それらの玉はすべて同じ大きさである。この袋の中の玉をよくかき混ぜてから 1 個ずつ続けて 2 個取り出し，玉の色を調べる。このとき，取り出された 2 個の玉の色が両方とも赤になる確率を求めなさい。

問 3 右の図のような $\triangle ABC$  がある。2 辺  $AB$ ， $BC$  に接し， $AC$  上に中心がある円の中心  $O$  を作図によって求めなさい。ただし，作図には定規とコンパスを使い，また，作図に用いた線は消さないこと。



---

## H24 栃木県 公立 数学 問題

---

数-12-公-栃木-問-03

**3** 次の問 1，問 2 に答えなさい。ただし，途中の計算も書くこと。

問 1 1 個 100 円で売ると，1 日に 240 個売れる商品がある。この商品は 1 円値下げすることにより，1 日あたり 4 個多く売れる。この商品を  $x$  円値下げした日の売り上げは 25600 円であった。このとき， $x$  の方程式をつくり，何円値下げしたかを求めなさい。

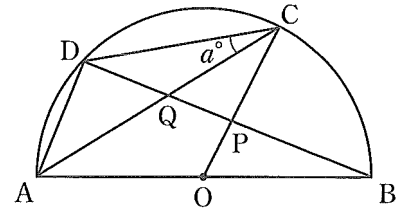
問 2 連立方程式 
$$\begin{cases} x - y = 6 \\ 2x + y = 3a \end{cases}$$
 の解  $x, y$  が  $x : y = 3 : 1$  であるとき， $a$  の値とこの連立方程式の解を求めなさい。

# H24 栃木県 公立 数学 問題

数-12-公-栃木-問-04

4 次の問 1, 問 2 に答えなさい。

問 1 右の図のような線分  $AB$  を直径とし点  $O$  を中心とする半円  $O$  がある。弧  $AB$  上に点  $C$ , 弧  $AC$  上に点  $D$  をとり, 線分  $BD$  と 2 つの線分  $OC$ ,  $AC$  の交点をそれぞれ  $P$ ,  $Q$  とする。



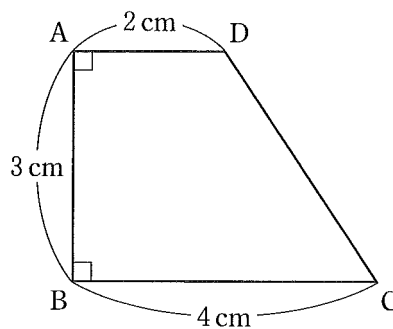
このとき, 次の (1), (2) の問いに答えなさい。

(1)  $\angle ACD = a^\circ$  とするとき,  $\angle BAD$  の大きさを  $a$  を用いて表しなさい。

(2)  $\triangle PQC \sim \triangle PCD$  を証明しなさい。

問 2 下の図のような,  $AB = 3 \text{ cm}$ ,  $BC = 4 \text{ cm}$ ,  $AD = 2 \text{ cm}$ ,  $\angle BAD = \angle ABC = 90^\circ$  の台形  $ABCD$  がある。この台形を, 直線  $AB$  を軸として 1 回転させてできる立体を  $P$ , 直線  $BC$  を軸として 1 回転させてできる立体を  $Q$  とする。このとき, 次の文の ア にあてはまるものを  $P$ ,  $Q$  のうちから 1 つ選んで答えなさい。また, イ にあてはまる数を求めなさい。ただし, 円周率は  $\pi$  とする。

立体  $P$ ,  $Q$  の体積を比較すると, 立体 ア の体積の方が イ  $\text{cm}^3$  大きい。



# H24 栃木県 公立 数学 問題

数-12-公-栃木-問-05

**5** 図1のように、 $AB=12\text{ cm}$ 、 $BC=6\text{ cm}$  の長方形  $ABCD$  があり、辺  $AB$  の中点を  $M$  とする。

点  $P$  は  $A$  を出発し、長方形  $ABCD$  の辺上を毎秒  $2\text{ cm}$  の速さで  $A \rightarrow D \rightarrow C \rightarrow B$  の順に進む。

点  $Q$  は点  $P$  が出発すると同時に  $A$  を出発し、辺  $AB$  上を毎秒  $2\text{ cm}$  の速さで  $A$  から  $M$  へ進み、 $M$  に着いたら  $t$  秒間停止する。その後、点  $Q$  は毎秒  $a\text{ cm}$  の速さで  $M$  から  $B$  へ進む。

このとき、点  $P$  は  $C$  に、点  $Q$  は  $B$  に同時に着く。点  $Q$  はそこで停止し、点  $P$  はその後  $B$  まで進んで停止する。

次の問1、問2、問3に答えなさい。

問1 点  $P$  が  $A$  を出発してから1秒後の  $\triangle APQ$  の面積を求めなさい。

問2 図2のグラフは、点  $Q$  が  $M$  で4秒間停止したとき、2点  $P$ 、 $Q$  が  $A$  を出発してから  $x$  秒後の  $\triangle APQ$  の面積を  $y\text{ cm}^2$  として、 $x$  と  $y$  の関係を表したものである。ただし、2点  $P$ 、 $Q$  が一致するとき、 $y=0$  とする。

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 点  $Q$  が  $M$  から  $B$  へ進む速さは毎秒何  $\text{cm}$  か。

(2) 点  $P$  が辺  $CB$  上にあるとき、 $\triangle APQ$  の面積が  $12\text{ cm}^2$  になるのは、点  $P$  が  $A$  を出発してから何秒後か。ただし、途中の計算も書くこと。

問3 点  $P$  が  $A$  を出発してから7秒後に  $\triangle APQ$  の面積が  $28\text{ cm}^2$  となるには、点  $Q$  は  $M$  で何秒間停止すればよいか。

図1

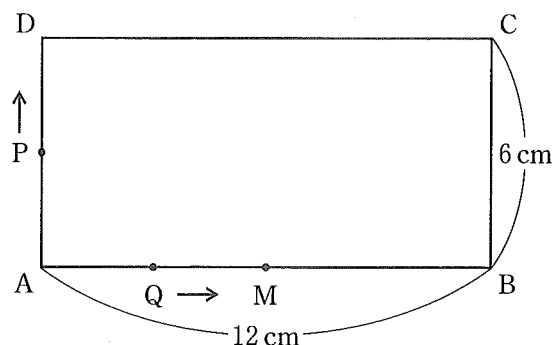
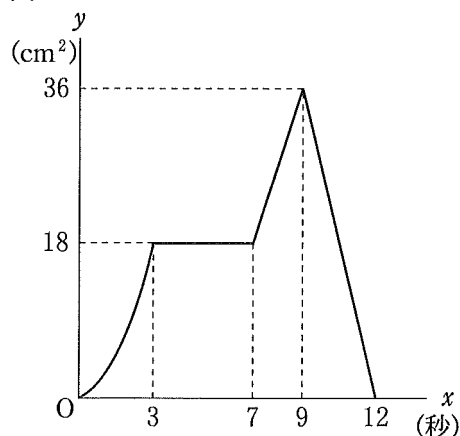


図2



# H24 栃木県 公立 数学 問題

数-12-公-栃木-問-06

- 6 大小2つのさいころを同時に投げて、大きいさいころの出た目の数を  $m$ ，小さいさいころの出た目の数を  $n$  とする。このとき， $PQ=m$  cm， $PS=n$  cm である長方形 PQRS を作る。

初めに長方形を図1のように頂点 P を原点 O に重ね，辺 PQ を  $x$  軸，辺 PS を  $y$  軸にそれぞれ重ねて置く。この長方形を，図2のように右下の頂点 Q を中心に矢印の向きに回転させ，図3のように辺 QR を  $x$  軸に重ねる。次に，長方形を右下の頂点 R を中心に同じ向きに回転させ，図4のように辺 RS を  $x$  軸に重ねる。以下同じように，長方形を右下の頂点を中心に回転させていく。ただし，座標軸の1目もりを1 cm とする。

また，図1の状態から図3の状態になったとき，長方形を1回「ころがした」ということにする。図4は長方形を2回「ころがした」ときの図である。

このとき，次の問1，問2，問3，問4に答えなさい。

図1

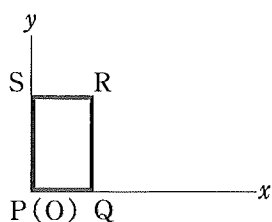


図2

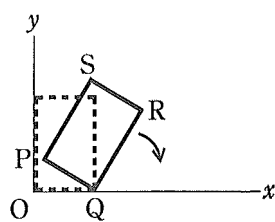


図3

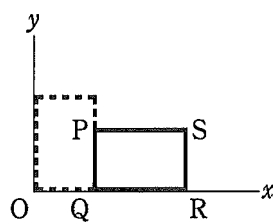
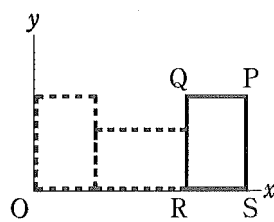


図4

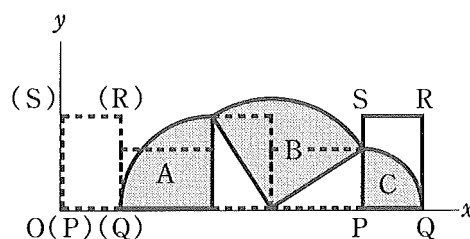


問1 大きいさいころの出た目の数が3，小さいさいころの出た目の数が5のとき，長方形を1回「ころがした」ときの頂点 S の座標を求めなさい。

問2 長方形を2回「ころがした」ときの頂点 P の  $y$  座標が5であるとき，大小2つのさいころの目の出方は何通りあるか。

問3 長方形を4回「ころがした」ときの頂点 Q が動いた跡は，図5のような3つのおうぎ形 A，B，C の弧になる。このとき，2つのおうぎ形 A，C の面積の和を  $T$  cm<sup>2</sup>，おうぎ形 B の面積を  $U$  cm<sup>2</sup> とすると， $T=U$  となることを  $m$ ， $n$  を用いて証明しなさい。ただし，円周率は  $\pi$  とする。

図5



問4 長方形を40回「ころがした」とき，頂点 Q の  $x$  座標が185以上になる確率を求めなさい。